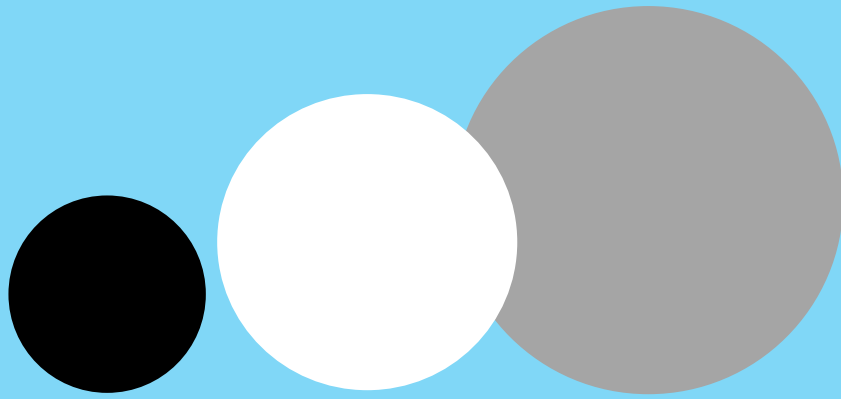




無意識コミュニケーション

～図解：無意識コミュニケーションの手引き書～

後編

個人的現実にはシナリオがあります。

それが今までの自分を作り出してきました。

個人的現実は変えられます。

新しいシナリオが新しい自分の体験を創ります。

他人との関係は変えられます。

お互いが作り出した物語のシナリオを変えることで。

自分が変わったなら…

次は周りを変えることです。



自分は世界の中で

生きているからです。

自分への無意識コミュニケーションによって自分を変えたなら、次は自分の周りを変えることです。

誰もひとりで生きているわけではないのですから。

自分を変えて世界を変えてください。

あなたは決して無力ではありませんから。

被害者でいることに、 馴れてしまってますか？



被害者が体験するのは、 **被害者の人生です。**

受け身に生きることになんて馴染んでしまっていないですか？

周囲で起きることに自分がまるで無力だを感じていませんか？

自分には変えられないと思い込んでいませんか？

自分だけでなく、他人も変わらないと思い込んでいませんか？

人の悩みの大半は人間関係です。
結局のところ…

人間関係に無力であるうちは、
お金にも、恋愛にも、無力です。



主導権を取り返しませんか？
自分の人生への。

人間関係に主導権を持つことが必要です。

あなたと、あなたの周囲の人達がより自由に生きるために。



前編に続いて、もう一度いいます。

脚本は書き換えられます。物語は選択できます!!

あなたが体験している人間関係の物語に満足してますか？

あなたが体験している人生の物語に本当に満足してますか？

あなたは世界に対して決して無力ではありません！

ー前編目次ー

基本は【無意識の仕組み】を理解する p 10

無意識の仕組みと方程式

①自分の体験を制限している無意識設定 p 13

②無意識システムの方程式 p 16

自分自身への無意識コミュニケーション p 23

①自分のセルフイメージに気づいてますか？ p 27

②イメージが現実を創造しています p 28

④セルフイメージは日々のコミュニケーションが創る p 32

⑤無意識コミュニケーションが作る「呪い」を「祝い」 p 34

⑥「呪い」と「祝い」を作り出しているもの p 44

他人への無意識コミュニケーション

1.人間関係で行われているコミュニケーションに気づく p 43

①エネルギーゲーム p 48

②コントロールゲーム p 52

③親との関係性によって作られたゲーム設定 p 53

—後編目次—

2.人間関係における主導権を持つ

- ①他人の無意識を読み解く p 60
- ②他人の無意識からのメッセージを受け取る p 62
- ③他人への意識的な無意識コミュニケーションとは p 64
- ④トランス実験でわかること p 68
- ⑤人を動かすとは p 75
- ⑥他人への「呪い」と「祝い」 p 77

現実創造と無意識コミュニケーション

- ①実現とは自分の無意識システムが投影された成果です p 84
- ②自分への無意識コミュニケーションによる全体自己との一致 p 88
- ③現実を変えたければ自己と調和すること p 90
- ④次元の仕組みを知ることが自己実現を加速させる p 91
- ⑤全体像を知ると目の前が見えてくる p 92

最後に p 95

人間関係における主導権を持つ

①他人の無意識を読み解く

自分の無意識下の設定と流れが読み解けるようになってくると…
当然のことながら他人の無意識が読み取れるようになります。

いや、実は他人の無意識のほうがわかりやすいかもしれません。
人間にとって自分ほど見たくないものはありませんから。
感じたくない感情からは反射的に目をそらせますし、思考は自分をだますからです。
ある意味で自分の思惑が入らなければ他人の方が客観的に見えることが多いと思います。

いずれにせよ、無意識は同じ方程式で動いています。

だから、設定や観念の中身は違ってもそれによって起きる反応の流れは変わりません。

その人の行動パターンからそれらを読み取ることが可能です。
今現在のその人が持つ設定から、未来のその人の行動を予測することが可能です。

もちろん目先の反応ひとつひとつを全て予測することは難しいでしょう。

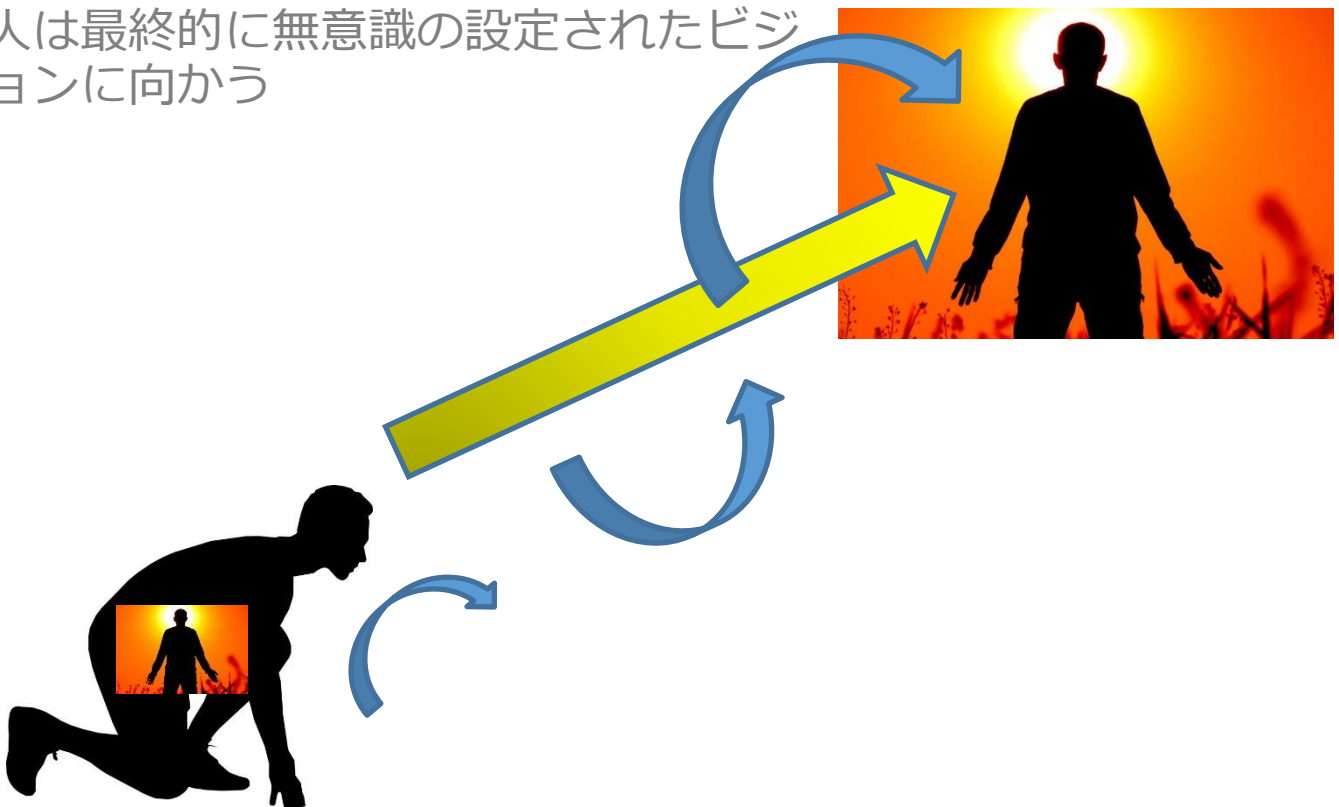
しかし大まかなラインで結果的にその人が体験していく未来は予測できます。

枝葉の選択や行動が違ってても、結果として設定に従った体験へと進むからです。

大きな流れの中で自分自身が無意識的にそこへ向かっていくからです。

何度も言いますが、人の体験は無意識設定が創りあげています。その人の無意識設定が変わらない限り結果は想定可能なのです。

人は最終的に無意識の設定されたビジョンに向かう



②他人の無意識からのメッセージを受け取る

それに本人が気づかないままに無意識にメッセージを送ってきていることは多々あります。

本人にそんな気がなくても、本人の潜在意識がサポートを求めてメッセージを送ってきます。

自分がいっぱいいいっぱいになっている人は周囲にそういうサインを送り続けていたりもします。

それを受け取ってあげられるかどうかなのです。

もしあなたがセラピストやカウンセラーといった職業を目指しているならば、こういったメッセージに気づいてあげられるかどうか、そしてそれにどう応えてあげられるのかがあなたのスキルレベルとなります。

別にセラピストになる気がなくても、あなたが母親になるつもりなら、あなたが愛するパートナーや家族とよりよい関係を気づきたいと望んでいるのなら…

相手の無意識からのメッセージを読み解くことは大切です。

何気ない一言が、無意識に隠れたその人の問題の核心を伝えてくることがあります。

何気ないしぐさが、その人が本当に望んでいることを訴えている場合があります。

何気ない行動や姿勢が、その人の無意識からのアピールであることがあります。

その人の病気が、その人の悪癖が、その人の苦しみが…

本当は誰かへのアピールであることはよくあることです。

それが受け取れば、その人の力になることも可能です。

その人自身が気づいていない問題と制限を、解放するためにサポートすることも可能です。

無意識コミュニケーションに熟達すればそれは可能です。

あなたとの人間関係が変わるでしょう。

あなたの周囲の人たちが、あなたからの恩恵を受け取ることとなることでしょう。

③他人への意識的な無意識コミュニケーションとは

他人の無意識システムに対するコミュニケーションは人間関係を大きく変化させます。

ただしそれは無意識的なエネルギーゲームではありません。

もちろんエネルギーゲームも人間関係を作り上げている大きな要素ですから、それによって作られる体験が大きく影響されていることは事実です。

エネルギーゲームやコントロールゲームが決して無力だと言っているわけではありません。

とてもパワフルです。

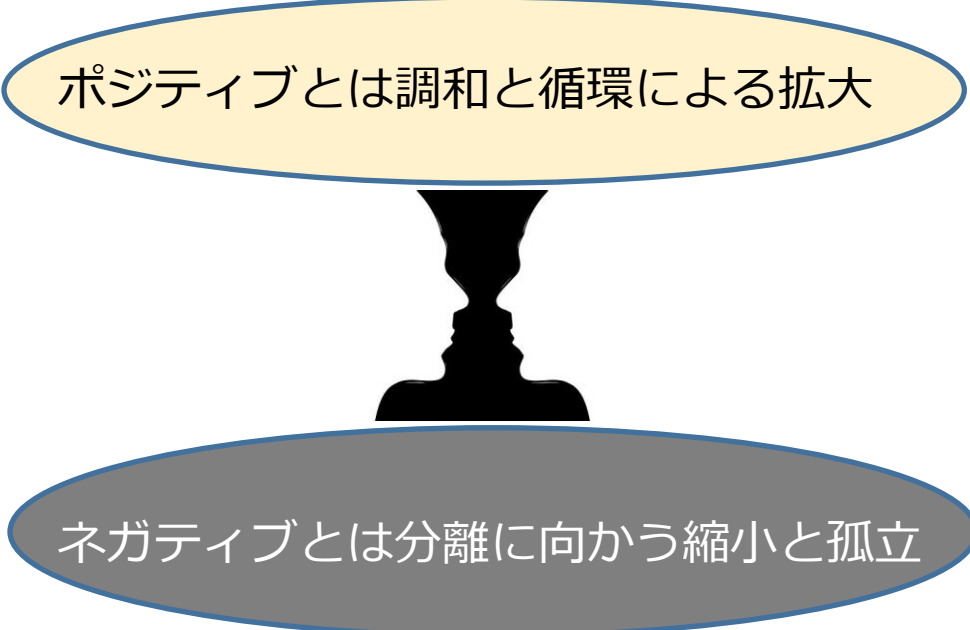
疲れ果ててしまうくらい（笑）

ただ、エネルギーゲームやコントロールゲームが生み出す関係性はネガティブなのです。

ネガティブとは分離に向かうエネルギーのことです。

本質的には表面的な喜びや悲しみのことではありません。

それは最終的に分離と反発に向かうエネルギーです。



ポジティブとは調和と循環による拡大

ネガティブとは分離に向かう縮小と孤立

想像してみてください。

誰かを自分の意のままにコントロールして、その関係が将来的にも望ましい関係性となり得るでしょうか？

嫉妬や独占欲を原動力として誰かをパートナーにしたとしても、その関係はずっと続けていける関係性なのでしょうか？

きっといつかは破局するのではないのでしょうか。

互いを尊重し合う本当のパートナーシップは構築できないのではないのでしょうか。

親が子供の将来を自分の思うようにコントロールできたとしたら
どうでしょう？

その子供は本当に幸せになるのでしょうか？

親の望む幸せが本当に子どもの幸せなのでしょうか？

その子はいつか親から逃げ出そうとするかもしれません。

もしくは自立できない人間に育つかもしれません。

誰かに自分の主導権を預けることでしか生きていけない人になる
かもしれません。

長期的に望ましい関係性は生まれないと思いませんか？

それぞれが心の底から満足する永続的な関係性は生まれないと思
いませんか？

ではいったい、他人への適切な無意識コミュニケーションとはど
ういったコミュニケーションになるのでしょうか？

まずは無意識というシステムを理解する必要があります。

無意識層は多くの人達が想像しているようなものとは違います。

それは完全なシステムです。

だから、法則を使うことによって明確に反応が起こります。

まずはそのことを理解していただくためにトランスという技術のことをお伝えします。

そこに大きなヒントがありますから。



④トランス実験でわかること

トランスとは意識が「あること」に完全に焦点を合わせている状態のことを言います。

例えば、読書に熱中している時には周りで起きている物音などが聞こえなかったりします。

何かに集中している状態を振り返ってみると、当たり前のように自分の知覚が変化していることに気づきますか？

そのことに関係のない知覚は完全に遮断されていたり。

逆に、ある知覚は普段の何倍もの精度で働いていたりしていませんか？

こういったトランス状態を意図的に作るのを催眠と呼びます。

その状態を活用して失われた記憶を再現したりトラウマからの解放をしようとするのがヒプノセラピーと呼ばれる技術です。

私はヒプノセラピストとしても、多くの人達をサポートする機会をいただいてきました。

そしてトランスの得意な人たちに協力してもらいながら、無意識システムの探求や意識構造の研究を続けてきました。

そんなトランス実験から解ってくることがあります。

例えば、トランス状態に入っている人に…

水を渡して「これは搾りたてのオレンジジュースだよ」と暗示します。

そうすると…

その人にとって水はオレンジジュースの味として知覚されます。

食べ物の味も同じです。

それが大嫌いなピーマンであっても大好きなフルーツの味に変えることが可能です。

身体の柔軟性が一気に UP することも可能です。

寒さに震えることも、暑さに汗かくことさえ可能です。



自分の頭に手をふれさせて「手がくっついた！」と言うと…
頭に手がくっついたまま離れません。

「足が床にくっついて、もう歩けない！」と言えば…
一歩も動けずに歩けなくなってしまうです。

一時的に無意識システムにある設定が書き換わっているのです。

もちろん大きなテーマとなっている設定ではありません。
本人にとってもそれほど重要でない設定だからこそ簡単に書き換わっています。

それは本人の潜在意識が許容している設定変更なのです。
いわば相手が同意している状態での一時的な設定変更なのです。

しかし、この話にはとても重要な法則が含まれています。

それは、無意識下の設定を変えるとその人の知覚・感覚・行動までが瞬間的に変化する。
という事実です。

多くの人が想像するよりはるかにその変化は明確に現れます。

ところが…

そんなふうに簡単に動かなくなったりしているその人に、例えば
「隣の人に暴力をふるいなさい」というような指示を与えても本人はそんな暗示には従いません。

どうしてでしょうか？

実は本人の潜在意識が許容した暗示だけが実行されています。

要はアクセスする側とされる側に、無意識のうちに同意が存在しているということです。

だから本人の潜在意識（無意識+深層意識）が受け入れないことは拒否されます。

もちろんマインドコントロールのように他人を洗脳することは不可能ではありません。

何らかの手段で強引にコントロールすることも可能でしょう。その人の恐怖や欲望へアプローチすることで一時的に受け入れさせることも可能です。

でも、あくまでも一時的なのです。

本人の深層意識＝全体自己が望んでいることではないからです。あくまでプロセスであって一時的なものなのです。



そこには、深い部分での
同意が存在する

相手の深層意識が同意していない無意識システムへのアプローチは力業です。

エネルギーゲームやコントロールゲームによる他人との関係にはいずれ（それがどのくらいの時間であろうとも）反動が起きるということです。

深いレベルにおいては人間は互いにつながり合っています。

互いの潜在意識が了承のうえで互いが演じ合う物語を体験しています。

だからこそ、自分の都合だけでない他人へのアプローチを考えていただきたいと思います。

相手にとってベストな方向性が必ず存在しています。

それは相手の深層意識が持ったデザインに沿った方向性です。

今現在の相手がそれに気づいていない場合であってもです。

調和は循環とさらなる調和を生み出します。

根本が調和した状態で技術を使うからこそ効果が上がります。

しかし無理なコントロールはいずれ反動を生み出します。

セラピストを目指している人などは特にその部分を理解していただきたいと思います。

目先の変化ではなく、相手の深層意識の方向性へ合わせるようにしてください。



無理に動かそうとしても動かないものがあります。
無理に動かせば反動と軋轢が起こることがあります。

⑤人を動かすとは

人を動かすということは、人をコントロールすることではありません。

コントロールしようとするればイライラして他人に怒りを感じるが増えるでしょう。

なぜなら人はコントロールできないからです。

一時的にできたとしてもそれは続かないからです。

根本的に人は自分の理由で動きます。

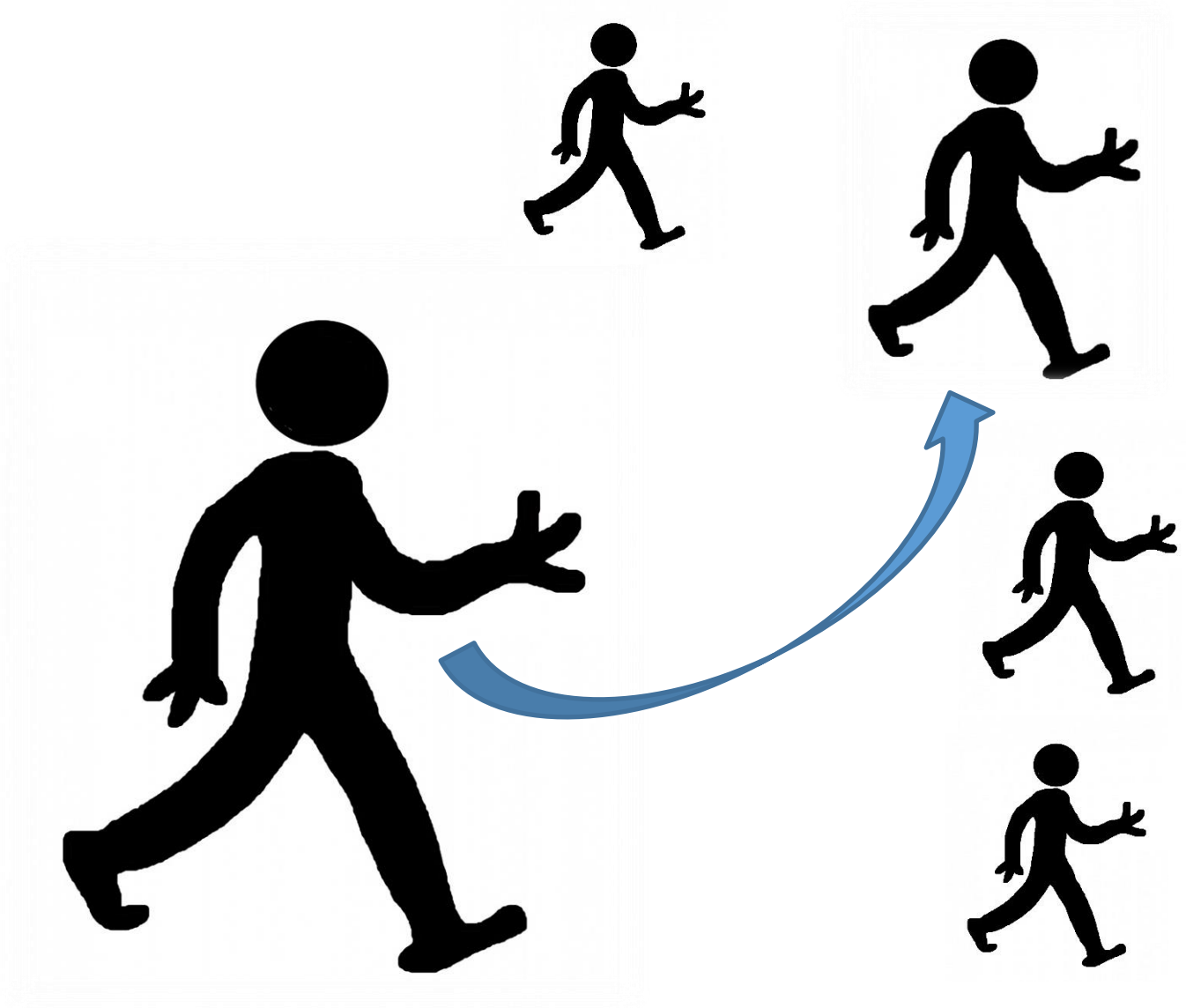
たとえ他人に指示を求めてばかりいる人であってもです。

そうすることで安心感を得たり責任を回避できるという自分の理由が隠れています。

人を動かすということは、その人の中に存在する別な方向性に気づかせてあげることです。

無意識的に行動している人は決してそれが本当の望みだからそうしているわけではありません。

無意識にプログラムしてしまった設定によって動いています。



頭にアプローチしても人は動きません。

人を動かすためにはイメージにアプローチする必要があります。

思考からアプローチしようが、感情からアプローチしようが、連想からアプローチしようが、それは同じです。

設定にまでアプローチできるなら、病気や性格さえ変わります。

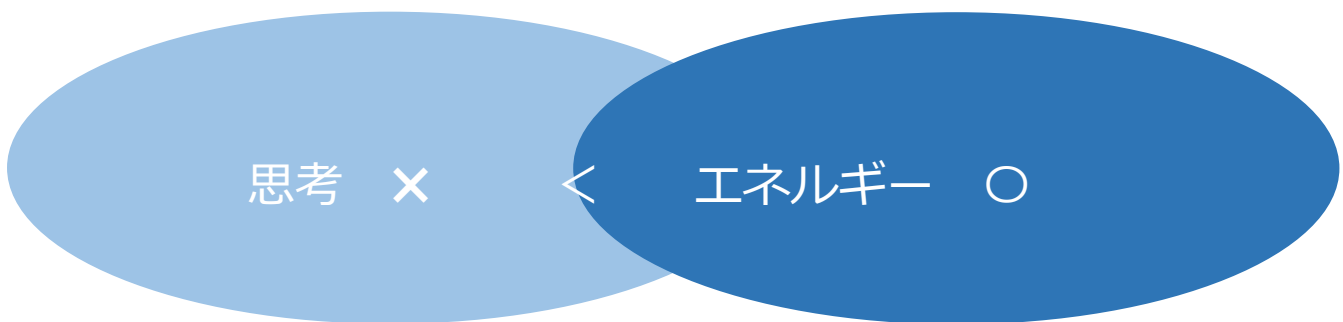
(技術の内容上その詳細と機微は実際の講座で学んでください)

⑥他人への「呪い」と「祝い」

あなたは大切な人に対して過度に心配してしまったりしていませんか？

そうすることが愛だと勘違いしていませんか？

もちろん心配はその人を愛するからこそその行為だと思います。
しかしそれが、本当は相手にこういったエネルギーとして働いているのでしょうか。



エネルギーとして働くのは、思考よりもイメージです。

想像してみてください。

心配するということは相手にとってネガティブな結果イメージを送り届けていることだと気づきますか？

あなたの大切な人への想いは、

祝いと呪いのどちらに働いているのでしょうか？

愛だと思って、嫉妬と独占欲という呪いをかけていませんか？

愛だと思って、心配と不安という呪いをかけていませんか？

愛だと思って、自分の正しさという呪いをかけていませんか？

愛だと思って、期待という縛りの呪いをかけていませんか？

それは本当に愛ですか？

…？？？… …

呪いには呪いが返ってきます。呪いには呪いが返ってきます。

あなたがまいた種をあなたが収穫することになります。



自分の感情と相手に働くエネルギーは方向性が違います。

他人への無意識コミュニケーションには、さらに奥があります。
原理を知らないままだとあまりにも不思議過ぎて受け入れられないという人もいるかも知れません。

しかし、少しだけお伝えさせていただくことにします。
他人への無意識コミュニケーションが単なる目先の技術だけではないということを心の隅にとどめておいてほしいと願って。

本人がここに滞在している間に家族の病状や状態が変わっていったという体験をされた方が数多くいらっしゃいます。
もちろん親しい友人や恋人などにも変化が現れます。

ここに来ていない人の病状や状態が変わるのです。
ある人の家族は入院していた病院の医療関係者から「奇跡の人」と呼ばれるような変化を体験したことがあります。

どういことでしょうか？

実は、これも一段階深い位置からアプローチできる無意識コミュニケーションの成果なのです。

本人の無意識システムを動かしている設定が変わることで、その本人の波動が変化します。

すると…

本人と普段無意識のままにストーリーを共有していた人や、無意識において頻繁にコミュニケーションをしていた人達に変化が出てくることもあるのです。

波動が変わることで共鳴する相手の波動に影響が出るからです。

すぐには信じられないかもしれません。

しかし、ここではよく起きる出来事です。

そういった無意識レベルからの共鳴を意図的に使って、目の前の母親から子供の病気や不調を改善したことが何度もあります。

特に家族や恋愛においては変化を起こすことが比較的容易です。

興味がある方は本講座にて仕組みを学んでみてください。

人間の意識と次元の関係が理解できれば誰にでも使えます。

何も不思議なことではなく、現実のコミュニケーション成果です。

自分が変われば周囲は変わります。
無意識レベルでつながっているからです。



自分が変わったという唯一の証明は、
周りの現実が変化することです。

他人への無意識コミュニケーションには、意識的に相手の無意識に直接的にコミュニケーションする方法と、全体自己の立ち位置から相手の無意識に間接的にコミュニケーションする方法があります。

いうならば深層意識コミュニケーションです。

あなたが無意識的に使ってしまう無意識コミュニケーションは、
あなたに制限と反動をもたらします。

あなたが意識的に使う無意識コミュニケーションは、
あなたに自由と豊かさをもたらします。
愛と信頼の人間関係を創りあげる力となります。



問題は、あなたが無意識のままにコミュニケーションするのか、
それとも意識的に無意識コミュニケーションするかなのです。

自分や他人や世界に対して無力に生きるのか…

それとも、主権と責任を持って生きるのかという選択です。

他人への無意識コミュニケーションは他人をコントロールするための目先の技術ではありません。

人間関係における自分の主導権を取り戻す方法です。

流されずに、巻き込まれずに、依存せずに…

自分自身を、相手を、本来の在り方と関係性にデザインし直すために使いこなしてください。

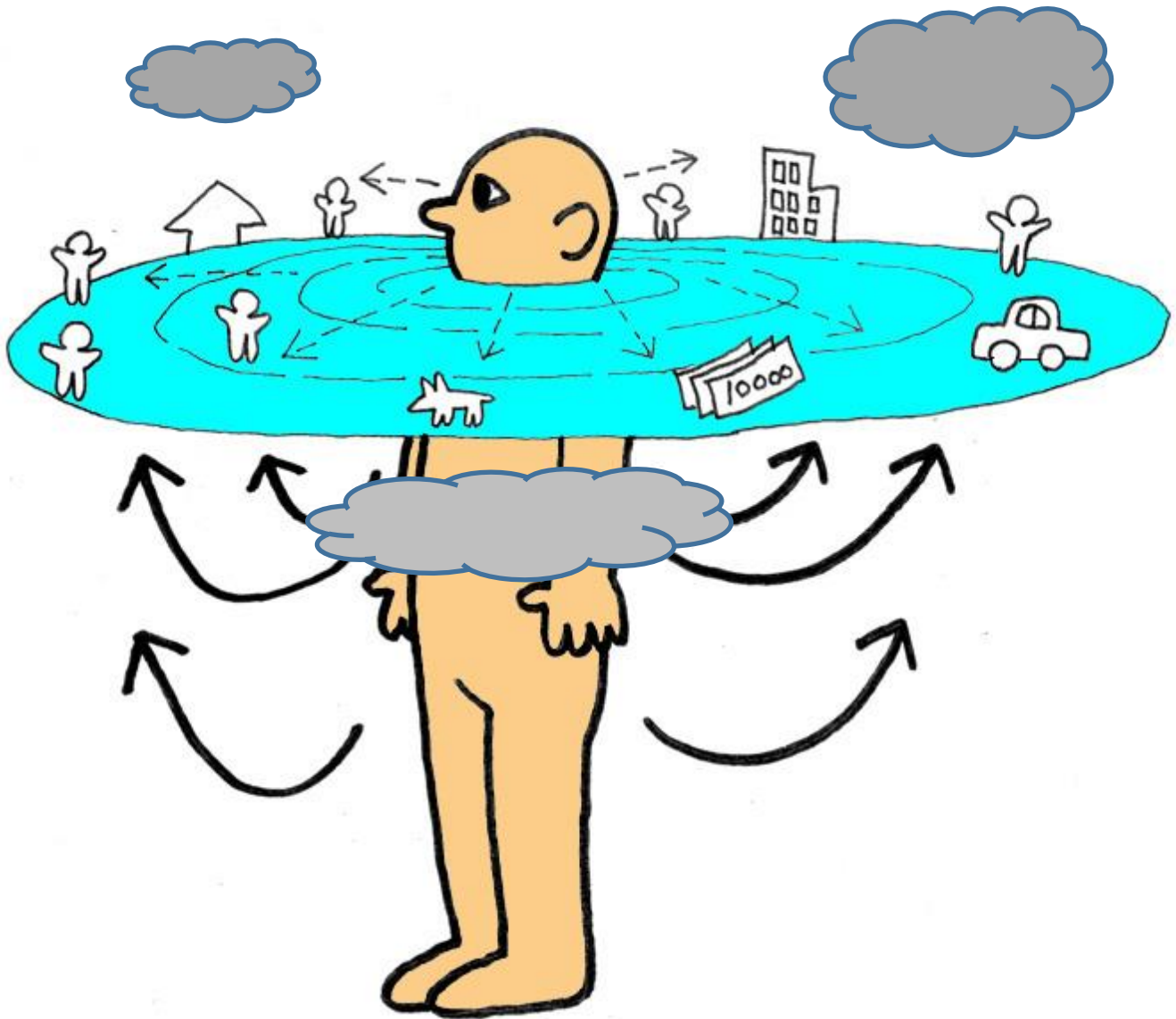


あなたの無意識コミュニケーションが…

あなたの周囲を変えてゆく力となって広がります。

現実創造と無意識コミュニケーション

①現実とは、現状の無意識システムが投影された結果です。



目の前の体験は、全体自己から流れ込んでくる創造エネルギーが無意識システムというフィルタを通して実現されています。

歪んだ観念が設定されていれば、その歪みが自分の現実には投影されて同調する出来事や人間関係が引き寄せられます。

自己実現の内容を変えたければ無意識を変える必要がある！

無意識下にある設定と観念が個人の体験を引き寄せています。

それがどんなに苦しいことでも楽しいことでも、本当はそのすべてが自分自身の延長です。

自分の内側のエッセンスの現われです。

だから…

気づかないままに無意識の古い設定や否定的なセルフイメージによって歪んだ自分像を自己実現させていくのか…

それとも意識的な無意識コミュニケーションによって制限の外れた本来の自分を自己実現させていくのか…

その選択が自分の人生を大きく変えていくことになります。

本当は、
人間はどんな時にも自己を実現しています。

問題は何を実現するのかです。

無意識システムにプログラムされた設定・観念が思考パターンや感情の方向性を作っている。



その感情や想念の持つ周波数が自分の波動。



その波動が共鳴する出来事や人物との体験を引き寄せる。



だから、古い設定に気づかないままに翻弄されているうちはいつまでもたっても体験は変わらない。

いわば歪んだフィルタを通してながら人生を設計している状態。

しかし、自分の無意識に設定された制限やブレーキがクリアされていくと…



全体自己にある自分本来の望みや方向性といったデザインが人生に投影され始める！

【自己実現と無意識システムの関係】



知覚は現実に対して後追いとなる。

知覚 = 顕在意識には舵がとれない…

知覚だけでは方向が変わらない…

◆体験の方向性を変えるには無意識を
変える必要がある◆



無意識の設定・観念が体験を決めている
(別視点：クリアすべきテーマ)

本来の自分が望む方向性

全体自己が持っているこの人生のデザイン

②自分への無意識コミュニケーションによる全体自己との一致

役に立たなくなった無意識設定とはブレーキであり制限です。
以前は役に立った設定も時代遅れになるとそれは制限として働いている場合があります。

人間は変化し続けます。

世界も宇宙も他人との関係も自分の学びのステージも…

問題はその変化に対する恐れや抵抗から始まります。

どんなことも自分内部に起こる違和感や変化の兆しに敏感であれば、本来はプロセスとして自分の財産へと変わっていきます。

ブレーキとして働いている無意識設定とは…

新しいステージに向かうことへの恐れから生じています。

それは全体自己である自分への信頼の欠如から作られています。

それは古い自分への執着であり新しい自分への抵抗です。

本来の自分を生きたければ…

本当の自分を自己実現させたいと願うのなら…

まずは無意識システムが作る自動的な自己実現のループから脱出

することが肝心です。

すると無意識システムにある制限がクリアされていくことで深層意識＝全体自己との一致が起こり始めるでしょう。

それは自動的に起こり始めます。

自分がどう在りたいのかが意識に上がってきます。

それを無意識システムにセットすれば…

この人生のテーマと方向性を知る全体自己が持つデザインに沿った方向性を体験していく生き方に変化し始めます。



③現実を変えなければ自己と調和すること

追えば追うほど遠ざかる…

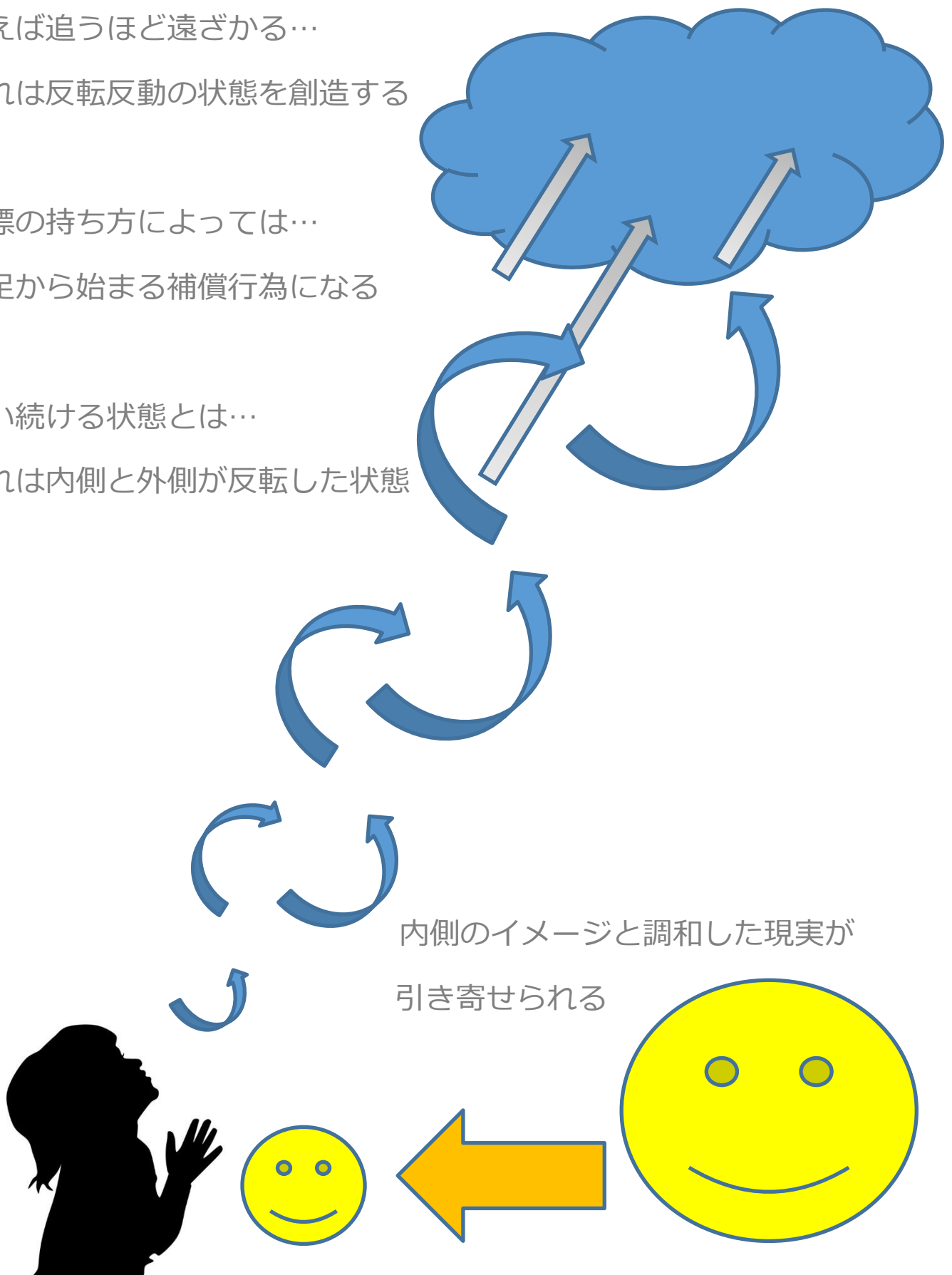
それは反転反動の状態を創造する

目標の持ち方によっては…

不足から始まる補償行為になる

追いつける状態とは…

それは内側と外側が反転した状態



**頭が望んでいても、
無意識の認識を書き換えていなければ
自分の内部で対立が起きる。**



どうやってそんなことができるんだよ…

そんなの無理無理…

そんな都合よくいくわけないじゃん…

無意識設定がそれをどう認識しているのかが重要です。

そんなこと不可能だという左脳的認識や、私にはそれを受け取る価値がないという右脳認識があると、望みと矛盾を起こします。

意識と次元の仕組みを知ることが、論理と直感を統合させます。

④全体像を知ると目の前が見えてくる。

人間には意識の階層構造があります。

それは、知覚と無意識と全体自己（深層意識）です。

従来の心理学では知覚（顕在意識）と潜在意識としか認識されていませんが、実はそれぞれに違った働きが存在しています。

それらを大まかにしか見ていないことに問題の核心があります。

それは次元の仕組みや宇宙の法則性についても同じです。

何となくわかった気になっていても何も変わりません。

無意識システムがそれを認識していないままだからです。

まずは全体像を知ってください。

目先の簡単さを追うばかりでなく。

自分に力をつけてください。

自分の中に全体像を持ってください。

そうすれば目の前に起きていることの本質が見えてきます。

そうすれば物事の後ろにあるエッセンスが見えてきます。

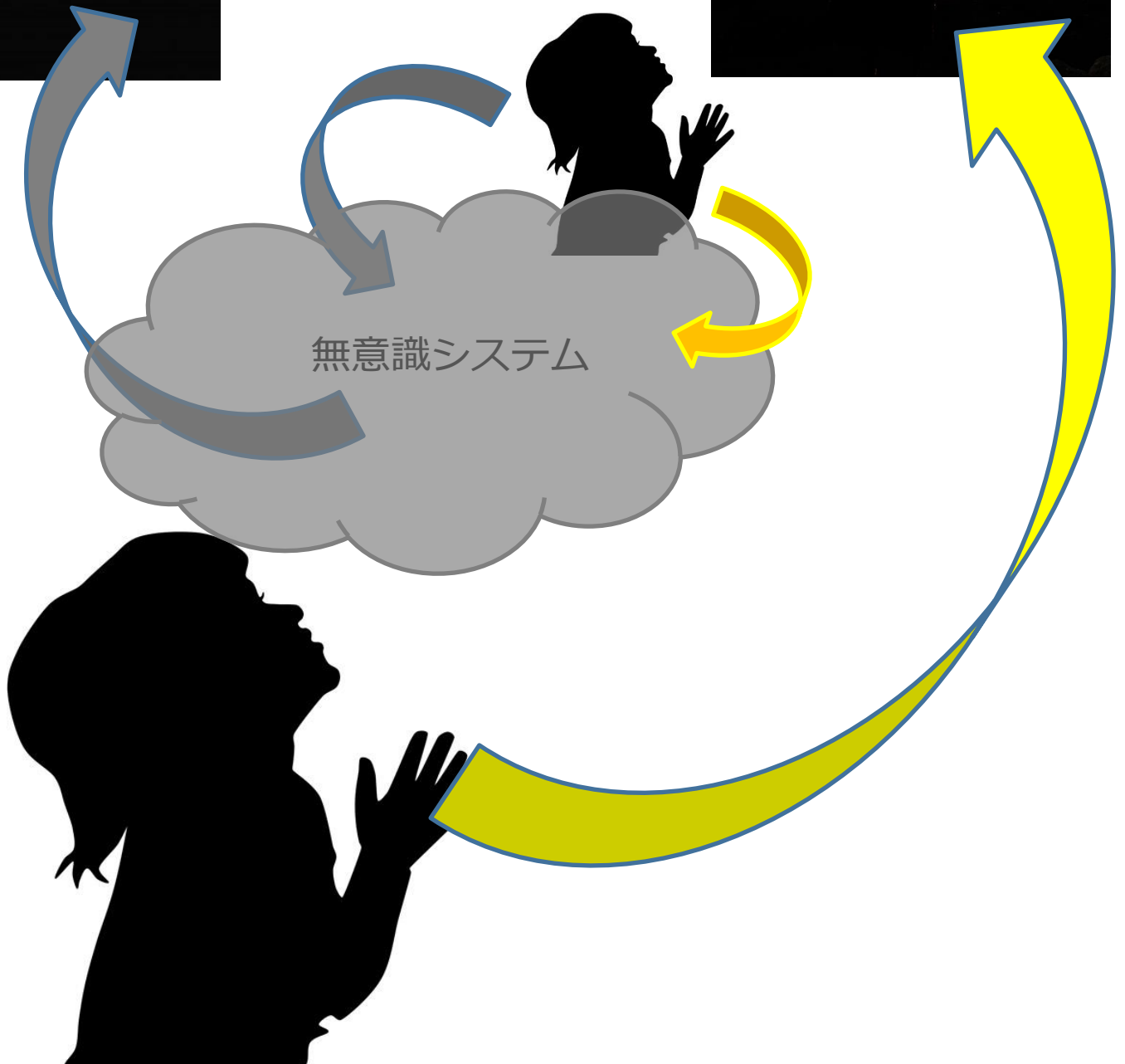
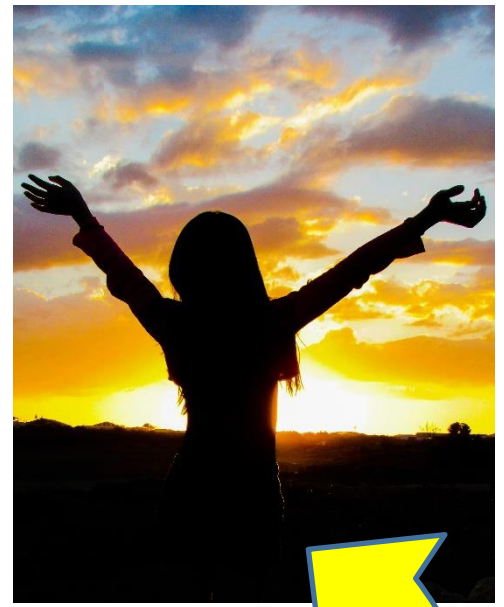
そうすれば自分が変わります。

人生がシンプルになります。



実現された
自分が嫌ならば…

実現している根っこを
変えればいい。



無意識の歪みをクリアすると全体自己が自分に流れ込んでくる。

無意識コミュニケーションは私の物語を書き換えるスキルです。
無意識コミュニケーションは本来の自己を体現するスキルです。

本当の自分に出会ってみませんか？



意識的な知覚

クリアされた無意識

本来の自己

私が体験してきた無意識コミュニケーションの成果

実家の母親から、寝たきりの父親がこの数日間狭心症の発作を起こしているという連絡が来ました。

実家に出向いた私は父親へ無意識コミュニケーションしました。結果的に、主治医よりニトログリセリンを預かりましたが父親が亡くなるまでそれを使ったことはありません。

発作は二度と起こりませんでしたから。

その父親は胃ガンで亡くなりました。

発見された時点で余命 1 カ月半。

自宅で逝かせてやりたかったので入院はしませんでした。

そこから私が実家に泊まり込んで父親を看続けましたが、痛み止めは一度も使いませんでした。

最後は私が父親の胸に手を置いた状態で安らかに逝きました。



家内の母親の認知症が酷くなって施設で寝たきりになりました。

家族や姉妹が見舞いに行っても、誰のこともわかりません。

中空を見つめたままでブツブツと口を動かすだけでした。

しかし私が見舞いに行って無意識コミュニケーションすると…

1～2 分でお義母さんは意識を取り戻しました。

家内の手を何度も何度も握りしめて合図をくれました。

次の日に車椅子を押して散歩に行ったら笑ってました。

何度行っても 1～2 分でお義母さんは意識を取り戻しました。

そのうち家内だけで行っても意識はすぐに戻るようになり、

妹さんが見舞いに行ったときには名前を呼んでくれたと妹さんに泣きながら喜ばれたこともあります。



ここ（やまと）に来てガンが消えていった人達があります。

ここに来て動かない身体が動くようになった人達があります。

自殺するしかないと言っていた人達が今は自分の人生を楽しんで生きています。

摂食障害や精神疾患に苦しんできた人達が元気でいます。

それは決して不思議なことではありません。

もともと人間の選択できる範疇のことなのです。

無意識システムを触ることで。

無意識システムにコミュニケーションすることで。

無意識システムを理解することは自分の潜在能力を開きます。

【最後に…】

ここまで無意識コミュニケーションの基礎となるガイダンスをお伝えしてきました。

無意識システムにプログラムされた設定をクリアすることで、全体自己と自我を隔てている制限が解放されます。

それは自分の**個人的現実を創り出している本質への扉が開く**ということです。

要するに、無意識システムこそがマトリックスの正体。
この人生に迷いと混乱を創り出している原因なのです。
もちろんそれも大きな視点から見れば必要があって体験している意味のあるプロセスなのですが…

いずれにせよ無意識システムを超えることは可能です。
それは私達人間の自我の成長過程における選択範囲内です。

だから、無意識システムへのアプローチこそが自分の人生に存在する本来のデザインと潜在能力を解放するための手段です。

その部分にさえ焦点を合わせるならば、他はついてきます。

無意識に存在するブレーキを外す行為。

それは同時に全体自己にすでに存在するアクセルを踏み込む行為につながります。

その二つを意図的に使いこなすための方法が無意識コミュニケーションスキルです。

頭と無意識システムと全体自己との対話であり連携です。

目覚めには修業が必要なわけではありません。

目覚めに必要なのは、気づくことです。

自分を動かしているシステムに。

自分が存在しているマトリックスの仕組みに。

しかしそれは、具体的に実践できてこそ意味があります。

実際に自分の無意識下の物語を書き換えられなければ、自分の人生への主導権を取り戻さなければ、何の意味もありません。

自分と現実を変えることこそが目的なのですから。

自分と現実が変わってこそ、それができた証明なのですから。

知っただけで現実が変わらなくては何の価値もありません。

そしてその実践的落とし込みは文章だけで伝えられるものではありません。

それぞれの人が持つ設定が違いうように、それぞれの人のフィルタが違っていているからです。

それぞれのフィルタを通した解釈では設定が変わりません。

したがって、

従来 of 解釈を超えた切り口でのアプローチが必要です。

さらに、それぞれの物語を創り出している各個人設定への効果的アプローチポイントを探り当てる必要があります。

そういった実践的な無意識へのアプローチ部分はリモート講座もしくは集中合宿で体験してください。

【本講座で提供させていただくもの】

「私の物語」に気づくために必要な今までの枠組みを超えた新しい視点の提示。

(新しい思考からのアプローチ)

個人々への実践的落とし込みのためのワークとセッション。

(感覚からのアプローチによる体感)

さらに、

他人への無意識コミュニケーションの具体的方法と手順。

反動の起こらない深いレベルからの自己実現のための調和と反転の仕組みと実践方法。

全体自己への理解とコミュニケーション方法。

現実創造の仕組みとそれを支える次元構造の理解。etc.

そういった文面だけでは伝わらないことを視点と角度を変えてお伝えしていきます。

講座テーマごとの教科書とワークブックをお渡しいたしますので、あくまでも実践編としてご参加ください。

何となくわかっているだけでは人生は変わりません。

誰かや何かに頼っていても物語の本質は変わりません。

自分を見抜く目と動かすスキルを身につけてください。

本当の自分軸はそこにしかありません。

自由はその先に存在しています。

もしあなたが本気で変わりたいければ、本気で人生を変えようと望むのなら…

そのために無意識コミュニケーションというスキルが自分に必要と感じられるなら…

この人生を変えるためのツールとして受け取っていただきたいと思います。

いっしょに学び、実践し、体験をシェアできる。
そんな仲間を募集しています。



旅に出発しませんか？

新しい自分への。

新しい仲間と、新しい人生への。

【有料リモート講座】

◆無意識コミュニケーションの達人 3ヶ月間養成講座◆

期間 3ヶ月間 （1月ごとの3テーマで1クール）

毎週3回のzoomによるリモート講座（月水金 20：00～21：30）（録画公開期間2日間）

*詳しくは公式ラインのメニュー画面よりご覧ください。

【リアル集中合宿のご案内】

◆無意識コミュニケーション実践のための7日間集中合宿◆

心身リセット合宿は、プチ断食、ファスティング、小食、岩盤浴によって身体と心のバランスを調整するための合宿です。

病気の改善や過食改善、身体からの調整を望まれる方にはこちらのリアル合宿をお勧めします。



心と身体のダイエット合宿

女性のための・・・ ファスティング&岩盤浴による心身リセット合宿

心身リセット合宿 和のホームページ

<https://www.danjikigaia.com>

©2021 心身リセット合宿 和

ここに記載されたすべてのコンテンツの無断転載、無断使用は禁止します。



あなたが本当のあなたへの扉を開くことを信じて。
和（やまと）は気づきと覚醒のための場で在り続けます。